

2 会員医療機関の被災状況

1 郡市区別被害

被災地区における家屋被害につき地区全体並びに医療機関の全壊（焼）、半壊（焼）状況は次の表のとおりであった。

これをみると、激震地区であった神戸市東灘区、灘区、中央区、兵庫区、長田区、須磨区、芦屋市の医療機関では、地区全体の被災率に比してもかなりの高率となっており、その被害が甚大であったことが分かる。

2 被災会員アンケート

本会では震災直後、被災会員に対しアンケート調査を実施した。

この調査では、被災会員に対し被災状況を問うとともに「診療所の再開、復興」並びに「当面の希望」を聞いた。診療所の再開、復興について回答者119名中「意志がある者」105名（同じ場所で96名、同じ医師会内の別の場所で8名、県内の他医師会内で1名）、「意志がない者」14名（勤務医になる3名、廃業する10名、その他1名）であった。当面の希望について「勤務先を斡旋してほしい」3名、「再開するまで当分アルバイト先を斡旋してほしい」11名、「再開のための融資の世話をしてほしい」53名、「その他」

家屋（全体・医療機関）被害状況

	家 屋（全 体）						医 療 機 関					
	全 壊（焼）			半 壊（焼）			全 壊（焼）			半 壊（焼）		
	a 被災棟数	b 地区全体棟数	被災率 (a/b)	a 被災棟数	b 地区全体棟数	被災率 (a/b)	a 被災棟数	b 地区全体数	被災率 (a/b)	a 被災棟数	b 地区全体数	被災率 (a/b)
		%			%			%			%	
神戸市	74,396	535,466	(13.9)	55,486	535,466	(10.4)	291	1,436	(20.3)	288	1,436	(20.1)
東灘区	14,021	65,483	(21.4)	5,571	65,483	(8.5)	52	195	(26.7)	39	195	(20.0)
灘 区	13,223	45,150	(29.3)	5,770	45,150	(12.8)	56	167	(33.5)	44	167	(26.3)
中央区	6,411	46,838	(13.7)	6,680	46,838	(14.3)	53	253	(20.9)	75	253	(29.6)
兵庫区	10,473	44,467	(23.6)	8,170	44,467	(18.4)	41	171	(24.0)	51	171	(29.8)
北 区	272	78,987	(0.3)	3,142	78,987	(4.0)	1	122	(0.8)	4	122	(3.3)
長田区	20,280	48,898	(41.5)	8,356	48,898	(17.1)	60	162	(37.0)	41	162	(25.3)
須磨区	8,103	56,411	(14.4)	5,637	56,411	(10.0)	23	123	(18.7)	18	123	(14.6)
垂水区	1,177	72,200	(1.6)	8,897	72,200	(12.3)	4	153	(2.6)	15	153	(9.8)
西 区	436	77,032	(0.6)	3,263	77,032	(4.2)	1	90	(1.1)	1	90	(1.1)
尼崎市	4,888	155,808	(3.1)	25,520	155,808	(16.4)	0	460	(0)	4	460	(0.9)
伊丹市	1,370	46,871	(2.9)	7,200	46,871	(15.4)	1	123	(0.8)	3	123	(2.4)
川西市	536	48,346	(1.1)	2,583	48,346	(5.3)	0	91	(0)	3	91	(3.3)
宝塚市	1,341	50,815	(2.6)	3,718	50,815	(7.3)	1	125	(0.8)	5	125	(4.0)
西宮市	19,550	90,880	(21.5)	16,302	90,880	(17.9)	26	379	(6.9)	63	379	(16.6)
芦屋市	4,672	27,331	(17.1)	3,944	27,331	(14.4)	13	90	(14.4)	20	90	(22.2)
明石市	2,210	87,165	(2.5)	3,380	87,165	(3.8)	3	195	(1.5)	17	195	(8.7)
洲本市	17	32,732	(0.1)	655	32,732	(2.0)	0	43	(0)	1	43	(2.3)
津名郡	3,211	56,644	(5.7)	4,228	56,644	(7.5)	1	41	(2.4)	5	41	(12.2)
合 計	112,191	1,132,058	(9.9)	123,016	1,132,058	(10.9)	336	2,983	(11.3)	409	2,983	(13.7)

家屋（全体）：地区全体棟数 神戸市＝平成7年1月段階の棟数（神戸市固定資産税課調）
 その他の地区＝平成5年兵庫県統計書（課税対象棟数）より
 医療機関：地区全体数 平成6年12月末現在医療機関数

1名の回答を得た。

この調査結果を受け、本会復旧・復興の重点事業として『被災会員に対する融資等救援措置の設置等』を行政並びに金融機関に対して強力に働きかけた。

また、勤務先、アルバイト先の斡旋を希望する会員に対して医師受入可能医療機関を調査の上、双方の仲介を積極的に実施した。

図1 診療所の被害状況

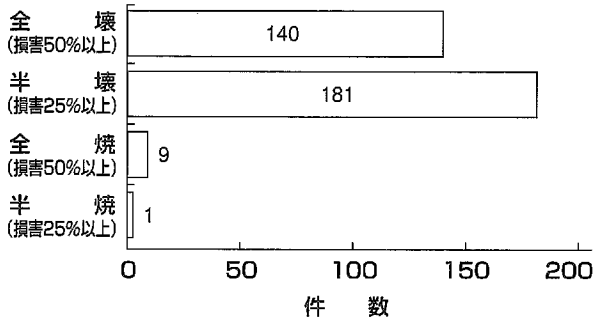


図2 現在の診療程度

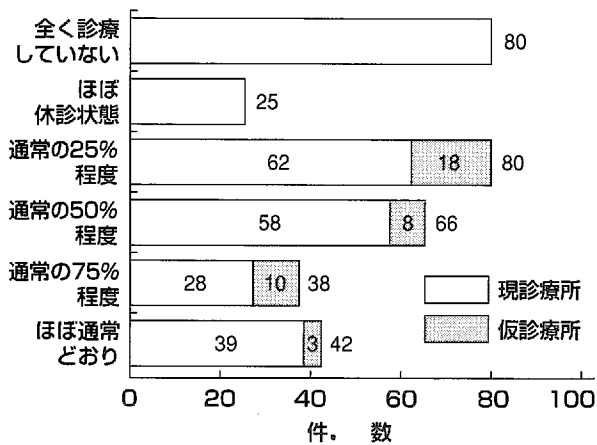


図3 診療所の被害状況・診療程度

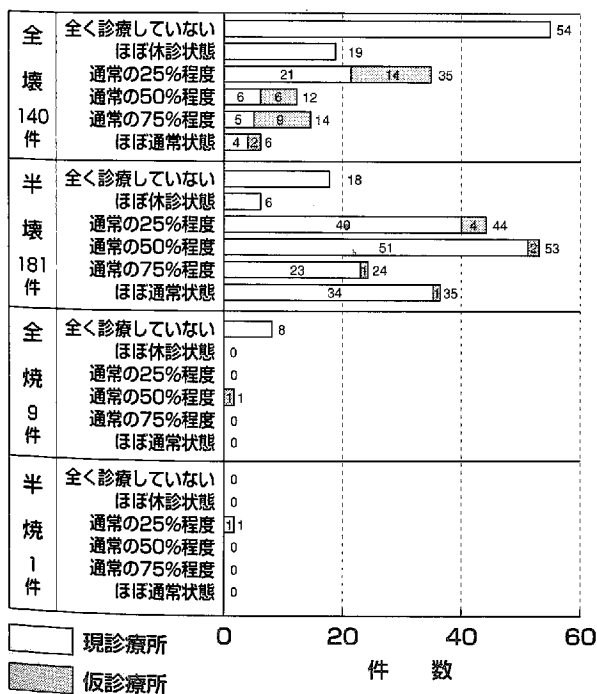


図4 診療所の再開、復興

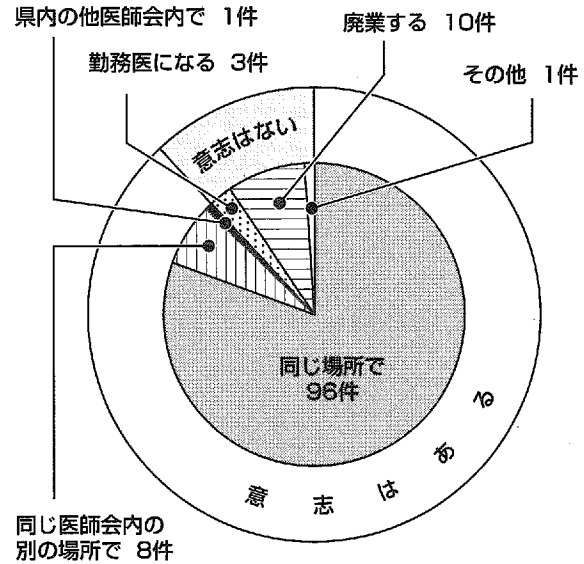


図5 当面の希望

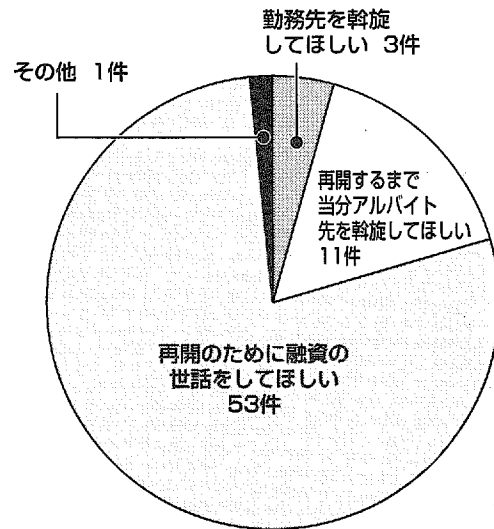
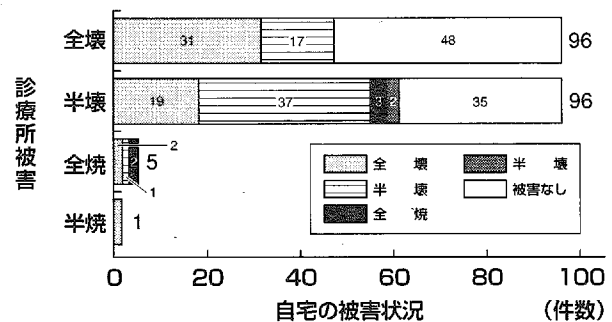


図6 診療所とは別に自宅が有る場合の自宅の被害状況



3 人的被害

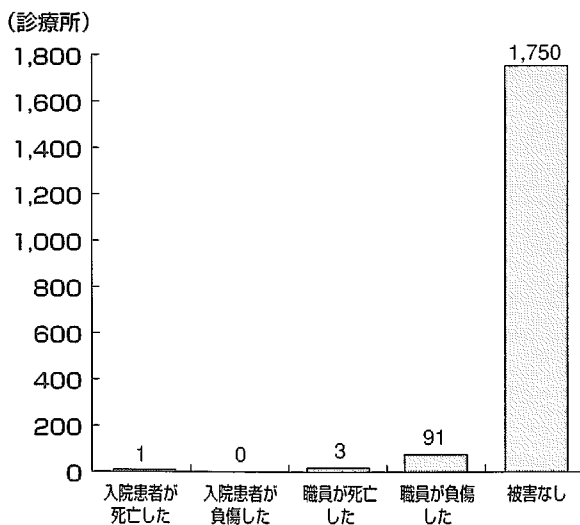
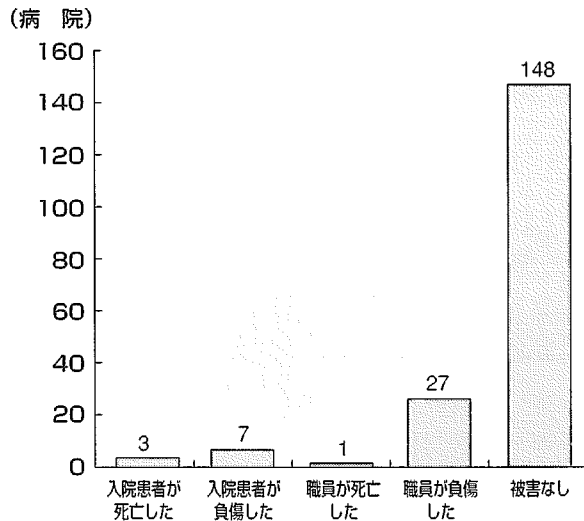
(病院)

震災日から3日間の院内での人的被害では、回答した182病院のうち「被害なし」148病院、被害を受けた病院では「入院患者が死亡した」3病院、「入院患者が負傷した」7病院、「職員が死亡した」1病院、「職員が負傷した」27病院であった。

(診療所)

回答した1,845診療所のうち「被害なし」が1,750診療所、被害を受けた診療所では「入院患者が死亡した」1診療所、「職員が死亡した」3診療所、「職員が負傷した」91診療所であった。

人的被害（震災日から3日間）



兵庫県、災害医療についての実態調査結果（平成7年6月）より

4 施設・設備の被害

(病院)

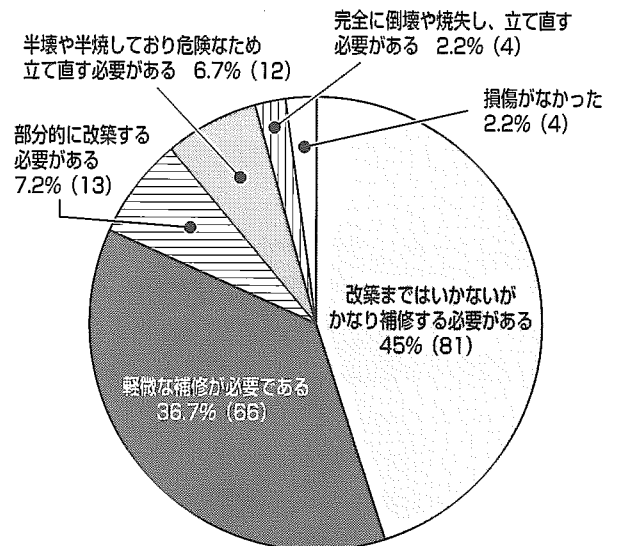
回答した180病院のうち損傷がなかった、軽微な補修が必要と回答があったのは、70病院（38.9%）であり、6割以上の病院が施設・設備にかなりの補修を要するか、それ以上（部分改築・全面改築）の被害を受けた。

(診療所)

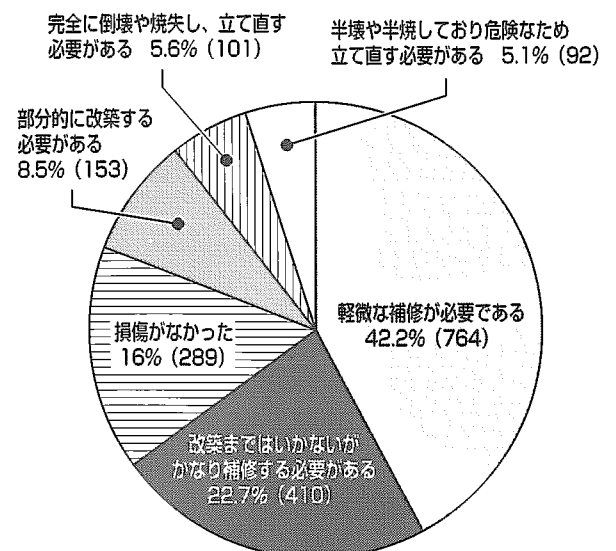
回答した1,809診療所のうち、約4割の診療所が施設・設備にかなりの補修を要するか、それ以上（部分改築・全面改築）の被害を受けた。

施設・設備等の被害

(病院)



(診療所)



兵庫県、災害医療についての実態調査結果（平成7年6月）より